

2020年8月20日

報道資料

株式会社スプライン・ネットワーク  
株式会社 FRONTEO

## FRONTEO、Wi-Fi からの情報漏洩の調査に向け 株式会社スプライン・ネットワークと協力

スプライン・ネットワークのWiSASソリューションパートナーとして  
安全で快適なWi-Fi利用社会の実現を目指す

株式会社FRONTEO(本社:東京都港区、代表取締役社長:守本正宏、以下 FRONTEO)と、Wi-Fiセキュリティのパイオニア 株式会社スプライン・ネットワーク(所在地:東京都渋谷区、代表取締役社長 雪野洋一、以下 スプライン・ネットワーク)は、FRONTEOのAIを用いたテキスト解析技術を含むデジタルフォレンジック技術と、スプライン・ネットワークが提供するWi-Fiの診断分析および常時監視サービスを連携し、平時からのWi-Fi環境の監視と、Wi-Fi経由の不正通信の検知と防止、情報漏洩インシデント調査での脆弱性診断分析について、協力体制を構築したことを発表します。

### 背景

家庭内、企業内での利用から公衆インフラ化、スマートフォンの普及によるWi-Fiオフロードと、時代と共に徐々に普及・拡大を続け、今では社会基盤として大きな役割を果たしている公衆無線LAN(以下、Wi-Fi)ですが、便利である一方、セキュリティ対策をきちんと講じないまま利用を続けると、Wi-Fi経由で家庭内や企業内のネットワークに不正侵入され、通信内容の盗聴やなりすまし、不正なアクセスポイントの設置など、無線ネットワーク網による隠れチャンネル経由での情報漏洩の被害に発展してしまいます。これまではWi-Fiサービスの提供者によって、暗号化や認証の導入といった対策が取られてきましたが、実際に不正侵入や通信傍受されてからでは、侵入経路や漏洩した内容を特定するのは困難でした。

### 協業内容

この度スプライン・ネットワークのWiSASソリューションパートナーになることで、FRONTEOのフォレンジック調査サービスと組み合わせた、Wi-Fi経由での情報漏洩調査が可能となりました。有事発生時の「WiSAS (Wi-Fi Security Assurance Series) :特許申請中」を用いた診断分析サービスである環境スキャン、環境最適化支援、脆弱性診断に加え、不正侵入を即座に検知または防止する常時監視サービス(非認可の不正アクセスポイントを常時監視可能)も提供可能となります。

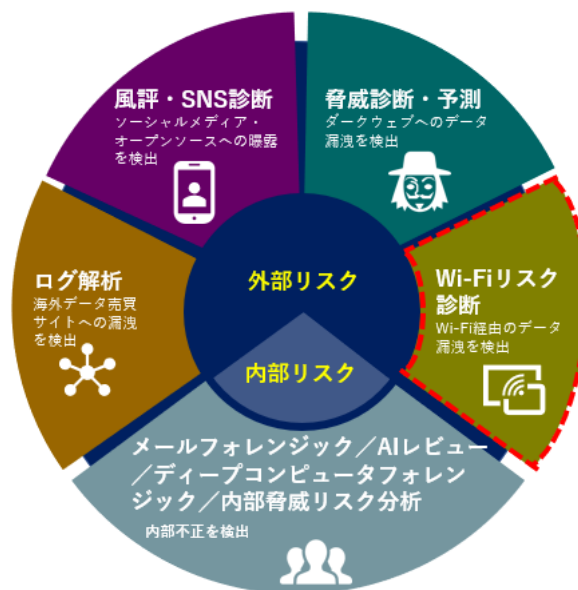
## 両社の強み

- スプライン・ネットワーク

これまで情報漏洩経路として認識の低かった Wi-Fiを対象とした本格的なセキュリティソリューションを提供。A5サイズの小型デバイス(WISAS専用センサー)を対象エリアに設置し、電源を入れるだけで、既存環境に一切変更を加えることなく、エリア内のWi-Fiをスキャンして常時監視できるなど、これまで実用に耐える製品がなかったWi-Fiへの不正アクセスの即時検知や防止を手軽に実現。特に、フルリモートのマネージドサービスを提供することで、パンデミックやディザスター時でも物理的な訪問を必要とせず、安心快適なWi-Fi環境を構築できます。スポットでの脆弱性診断や常時監視サービスでは、既に数多くの実績を上げています。

- FRONTEO

FRONTEOは、独自開発したAIエンジン「KIBIT®」による大規模テキストデータの解析技術と、17年にわたって蓄積してきたデジタルフォレンジック技術を用いて、これまで主に社内不正の検出・調査に携わってきました。この度のスプライン・ネットワークとのWISASソリューションパートナー契約により、様々な外部リスクの中でも特に無線ネットワーク網を対象としたWi-Fiリスク診断が強化され、内部・外部からのリスクに対する包括的なソリューションが提供できるようになりました。



FRONTEOのサービス対応範囲(赤で囲った部分が今回の強化分)

### 株式会社スプライン・ネットワーク 代表取締役 雪野洋一氏のコメント

「この度 FRONTEO が、安全で快適な Wi-Fi 利用社会を目指すという当社のビジョンに共感して WISAS ソリューションパートナーになったことは非常に心強く、心から嬉しく思います。Wi-Fi が益々普及し、Wi-Fi 絡みの情報漏洩事件が増加の一途を辿る一方で、Wi-Fi の脆弱性はほとんど放置されているという現況を FRONTEO と共に打破していきたいと考えています。」

### 株式会社FRONTEO 代表取締役 守本正宏のコメント

「FRONTEO のテキスト解析 AI をベースとしたフォレンジック調査、内部リスク分析を補完すべく、ここ数ヶ月で積極的にサイバーセキュリティ専門企業と協力し、外部リスクの調査能力も高めてきましたが、この度、スプライン・ネットワークと協業することにより、近年情報漏洩ルートの中でも、割合



を増しつつある Wi-Fi 経由のデータ流出事案に FRONTEO で対応できるようになりました。今後もデジタルフォレンジックのリーディングカンパニーとして、サイバーセキュリティに関するリスクマネジメントソリューションの開発に力を注いでまいります。」

■ **株式会社スプライン・ネットワークについて** URL: <https://www.spline-network.co.jp/>

2002年1月設立。セキュリティやプリンティングの領域において、様々なソフトウェアソリューションを自社で手掛け、開発からマーケティング、販売、サポートまで一貫したビジネスを展開。独自の視点で生み出したユニークなソリューション群は、導入企業から高い評価を得ています。

2017年より、脆弱性が放置されているWi-Fi通信ネットワークが多数散在する状況を前に、Wi-Fiネットワークを可視化し、Wi-Fi環境の最適化を支援、Wi-Fi不正利用を防止し、サイバー攻撃による情報漏洩を防止するソリューション「Wi-Fiセキュリティ アシユアランス シリーズ」(WiSAS)の開発に着手、2020年1月、WiSAS全てのサービスを提供開始致しました。今後はさらにWiSASのブラッシュアップを推し進め、快適でセキュアな Wi-Fi 環境の普及拡大の支援に集中して事業展開を行っていきます。

■ **FRONTEO について** URL: <https://www.fronteo.com/>

FRONTEOは、自然言語処理に特化した自社開発AIエンジン「KIBIT®」と「conceptencoder®」を用いて膨大な量のテキストデータの中から意味のある重要な情報を抽出し、企業のビジネスを支援する、データ解析企業です。2003年8月の創業以来、企業の国際訴訟を支援する「eディスカバリ(電子証拠開示)」や、「デジタルフォレンジック調査」というリーガルテック事業をメインに、日本、米国、韓国、台湾とグローバルに事業を展開してきました。リーガルテック事業で培ったAI技術をもとに、2014年よりライフサイエンス分野、ビジネスインテリジェンス分野へと事業のフィールドを拡大し、AIを用いて「テキストデータを知見に変える」ことで、創薬支援、認知症診断支援、金融・人事・営業支援など、様々な企業の課題解決に貢献しています。2007年6月26日東証マザーズ上場。資本金2,568,651千円(2020年3月31日現在)。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 FRONTEO 広報担当 瀧川

FAX: 03-5463-6345 Email: [pr\\_contact@fronteo.com](mailto:pr_contact@fronteo.com)